

“断熱性能の現場測定”に関する ISO 発行について 「JJJ 断熱診断」が国際標準規格 (ISO) へ

「JJJ 断熱診断」の技術的根拠である「現場における建築部位の断熱性能の測定方法 (赤外線カメラによる熱画像法) ISO9869-2 : 2018」が 2018 年 8 月 16 日付けで発行された。

本測定方法は、東京大学の加藤信介名誉教授が委員長を務める(一財)建材試験センターの委員会において提案され、J 建築システムは現場での測定技術・手法の構築に向けた実施協力で参画し、いち早く誰もが利用できる仕組みで商品化に成功させた。(実登 3194072)

測定技術・手法の構築及び商品化に至る過程では、国交省、環境省、経産省等の補助事業による公的なサポートを得て、さらに国交省の断熱改修向けの補助事業においては、限定的ではあるが測定結果をそのまま断熱性能として扱って良いとする審査結果を得た実績がある。その結果、少しずつではあるが公知・評価されていることを実感してきたところである。

一方で、本測定結果を正式な当該物件の断熱性能として一般化するには、いまだ未踏の測定法であり誰もが受け入れ可能なシステムとして壁がある。そのため、基本的な考えに対する公的機関等の賛同や理解は十分に得られるものの、具体的な協力や支援に発展させることができない状況である。

今回の ISO 発行は、本測定方法が国際標準規格として正式に登録されたことを意味している。これまで明確な後ろ盾がなかった「JJJ 断熱診断」を国内の公的機関及び建築市場に対して正式に認められた測定方法であることを広く認識してもらい大きなチャンスであり飛躍のきっかけになると考えている。

【期待できる新規利用】

- ・ 現行の設計評価方法に変わりうる現場での実測評価方法
- ・ 既に確立・公知されているインスペクション、耐震診断に並ぶ建物測定・評価
- ・ 性能表示に伴う建設評価時（現場検査時）の性能確認
- ・ 断熱改修向け補助事業における性能確認
- ・ 住宅検査会社における断熱性能のリアルな検査

【普及に向けた企画案】

- ・ 国交省、環境省、経産省への報告と相談 ((一社)断熱診断普及協会より)
- ・ 瑕疵保険機関 (5 社) 及び住宅検査会社への情報発信
- ・ 新聞記事への掲載 (新建、日本住宅、リフォーム産業、日刊木材、道内各紙)
- ・ 登録記念セミナーの実施 (加藤先生、建材試験センターの協力)